

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すまいるプラス				公表日	8年 2月 25 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
						環境・体制整備	1
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9		・お出かけやイベントによって人数調整をしている。 ・その日の活動に合わせて適切だと思う。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		・バリアフリー化はされていないが、現在の利用児には問題ない。 ・階段は少し急なように思うが手すりが付いている。目線で分かるように工夫している。	・必要な利用者が利用になった時は配慮しなければならない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・おもちゃ等の物の位置が定まってお子ども達が元に戻しやすい。(片付けやすい) ・活動に合わせて1階と2階でうまく場所をつかえている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	・配慮はしているが場合によっては個別の部屋が使用できない事もある。 ・クールダウンや勉強など必要に応じて自由に行き来できる。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		・どの職員からも意見を聞き、ミーティングを行ったり、支援記録などに残している。その場にいなかった職員とも内容の共有し良い支援に繋げている。	・口頭でも伝える事で確実な情報共有に繋がるように心がけている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・可能な限り保護者の意向に沿えるように心がけている。	・検討が必要な件については上司に伝え意向に繋がるように取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・利用者が来る前、帰った後にミーティングがあり意見交換できている。 ・職員同士で意見を出し合い把握できている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		・第三者による外部評価を行い業務改善に繋げている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・他施設と一緒に研修があったり、外部研修も行っている。 ・色々な研修を受講できる機会は確保されている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・毎月の予約表に記載され、保護者にも配布している。 ・ホームページ等でも公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		・アセスメントや全職員とモニタリングを共有しながら計画をたてている。 ・保護者のニーズに合わせてながら計画を立てている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・子どもに携わっている職員が支援内容を共通理解したうえで検討を重ねている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・支援内容を皆で共有してより良い支援を行えるように協力し合っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・日々の様子を支援記録に残し、内容の分析や反省等を行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・利用者に合った必要な支援を具体的に考え、出来る所の項目の中に組み込み内容設定に取り組んでいる。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・皆で話し合っている。 ・どこに行くか、何の活動をするのか事前に話し合う事が出来ている。	・身辺自立や社会自立に繋がる活動を考えて立案していく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・どんな活動が楽しく活動でき、支援の一つになるか考えるようにしている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		・1人ひとり支援の内容は違っているがそれぞれの活動の中で社会に出る為の社会性が身につけようと考えている。		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・活動内容について話し合い、活動中でも様子を見守りながら対応していく。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・活動中やその日に合った子どもの様子を反省として話を共有し次回の対応に繋げていく。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・それぞれのノートが作っており、記録に残している。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・定期的にモニタリングを行い、出来ているか又、無理がないかを判断している。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9		・4つの基本活動を支援の中に取り入れて利用者に合うよう支援に繋げている。		
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		・自己選択出来るよう、その時々声掛けしながら自分の意見が言えるようにしている。		
	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・児発管や施設長が対応している。		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	・連携が出来ている機関もあるが、なかなか取ることが難しいと感じているが協力し合いたい。	・今後も必要な関係機関とは積極的に連携が取れるように、こちらからも働きかけていく。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		・学校の担任の方と連絡を取ったり聞き取りなどは行っているが時間などの難しさもあり、密にできない事も多い。		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	・発達支援事業所との情報共有はできていますが他とは書面での理解が多く、共有することに努めていきたい。	・今後も必要な関係機関とは積極的に連携が取れるように、こちらからも働きかけていく。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		・書類や面談等で引継ぎをしている。		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9		・必要があれば連携しあい対応するように心がけている。 ・外部の講師を招いて助言は受けている。		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	・交流できる場所に出向き、子ども達との関わる機会を作れるよう情報を集める様に心がけている。	・地域の公共施設やお祭りなど、地域と繋がる活動に積極的に参加していく。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	3	・全職員が参加できるものではないため、代表して施設長が子ども部会に参加している。	・今後も積極的に出向いていくようにしていく。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・その日の様子等を送迎時に伝えている。 ・特別お伝えしたい時は、直接お会いしてお話したり、電話等で伝えようとしている。		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	・年2回保護者会を開催して研修の機会を作って提供している。	・今後も保護者様の声を聴きながら、計画を立てていきたい。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・契約時に保護者に説明している。	
		37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・面談などの時間を設け、対面で話をしたり書面に保護者が子どもに対しての思い等を記入してもらっている。	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		・計画書が出来た時にしっかり説明をして計画内容の確認をしてもらい、同意を得ている。		
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・相談を受けた時、面談や電話等で必要な助言や支援を行っている。		
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		・保護者会を開催して交流ができる場を提供している。 ・兄弟が一緒に楽しめるイベントを企画している。		
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・子どもや保護者に状況説明をする。また、円滑に対応している。		
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		・ホームページやSNS等の活用している。		
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・職員全員が取り扱いには注意している。		
44		障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・相手に伝わりやすい伝え方を心がけて対応している。		
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	・地域に開かれた行事等の開催を行っていない。 ・今後、出来れば行えるとよい。	・地域と繋がるイベントを考えていきたい。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・職員の間でマニュアルを共有している。		

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・利用者と一緒に訓練することが出来ている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・対応の確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・保護者から状況を聞き、対応している。	・食物アレルギーの研修をして知識の向上を図りたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		・安全には十分注意し、その都度職員同士で確認し合っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		・行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・何かあった時はその都度、状況の把握と対応の行い方を確認している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		・説明はその都度行っている。	